



①竹釘を使用した「竹錠（ちくじょう）」工法：間渡し穴へ直接に間渡し竹を接合させるのではなく、竹釘で間渡し竹を接合させる。



①横間渡しと竹釘を接合した状態。



②たたきに使用された「いわき土」

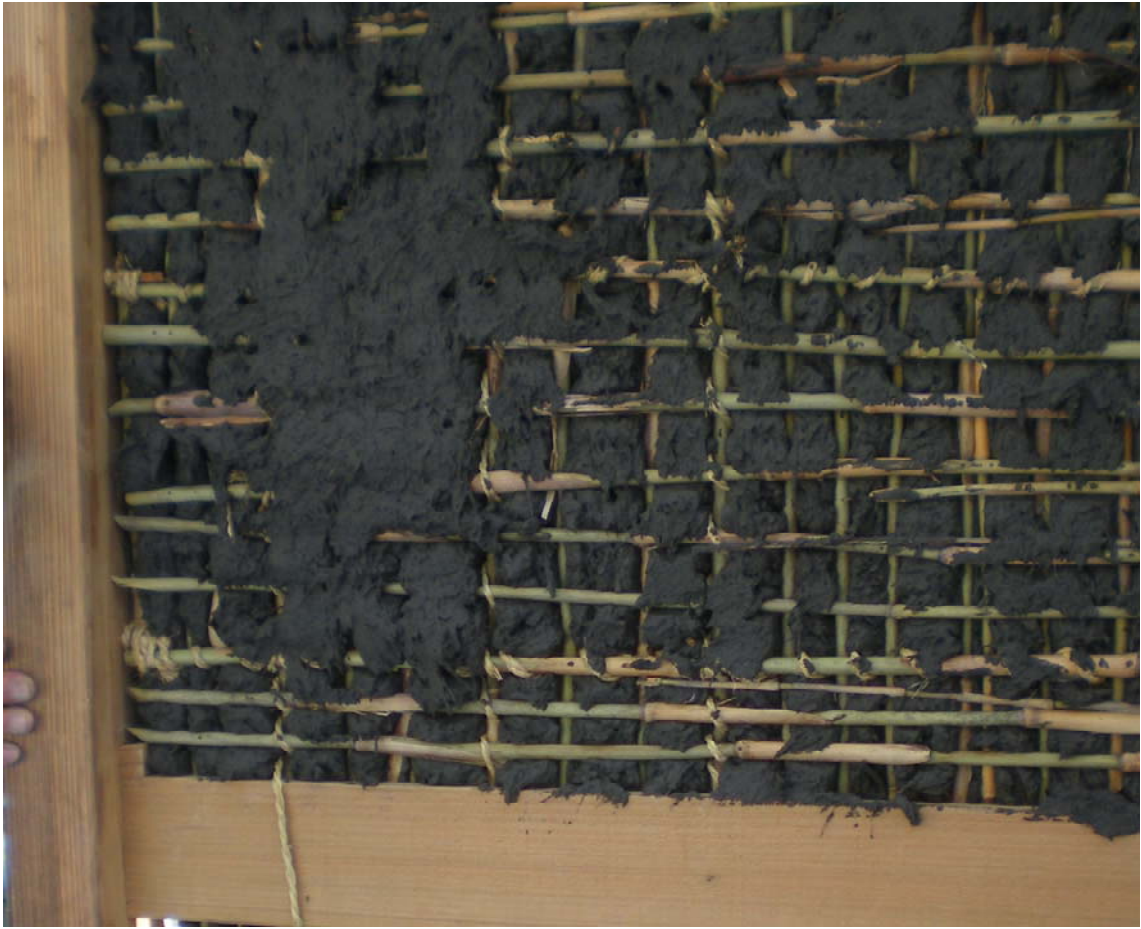




①竹錠工法による小舞下地；参加した長岡造形大学の平山育夫教授は「竹錠工法を用いれば小舞下地を6尺×6尺・3尺×6尺等に規格化して小舞が掛ける。このような工法はかつては用いられていたと推測する。」と教えてくれた。



①土蔵の解体土を使用した粘性が強い荒壁土の塗り作業。

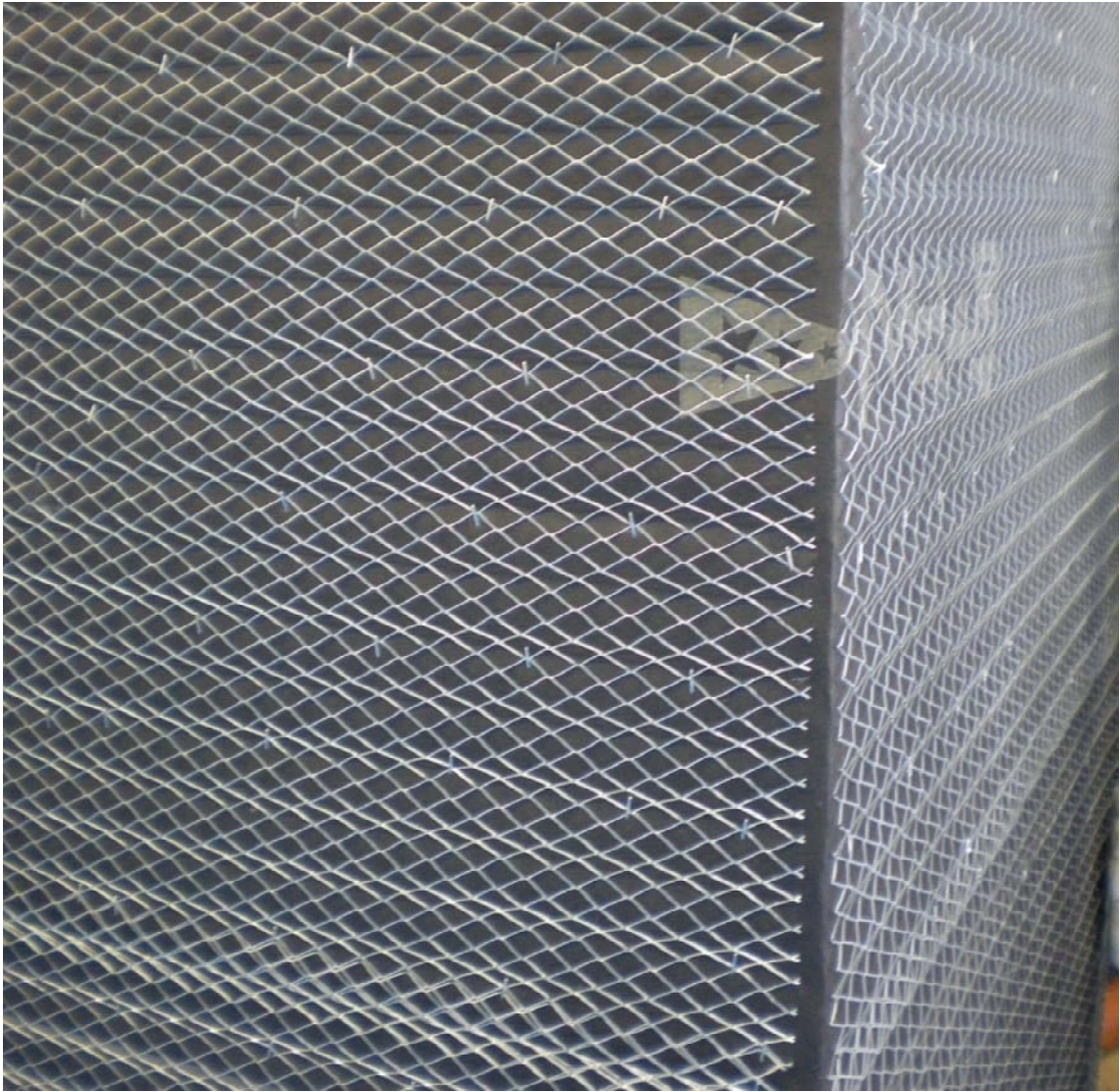


①裏撫での状態。





① 荒壁終了時に「“かぶ”の図を画いて、この家に“ひとかぶ”増えたと洒落るとお客は喜ぶ」と白石講師は伝える。



③フェルト430、ラス波形1号、ステープル1019Jを用いたラス下地。コーナー部分は約物ラスを用いる。